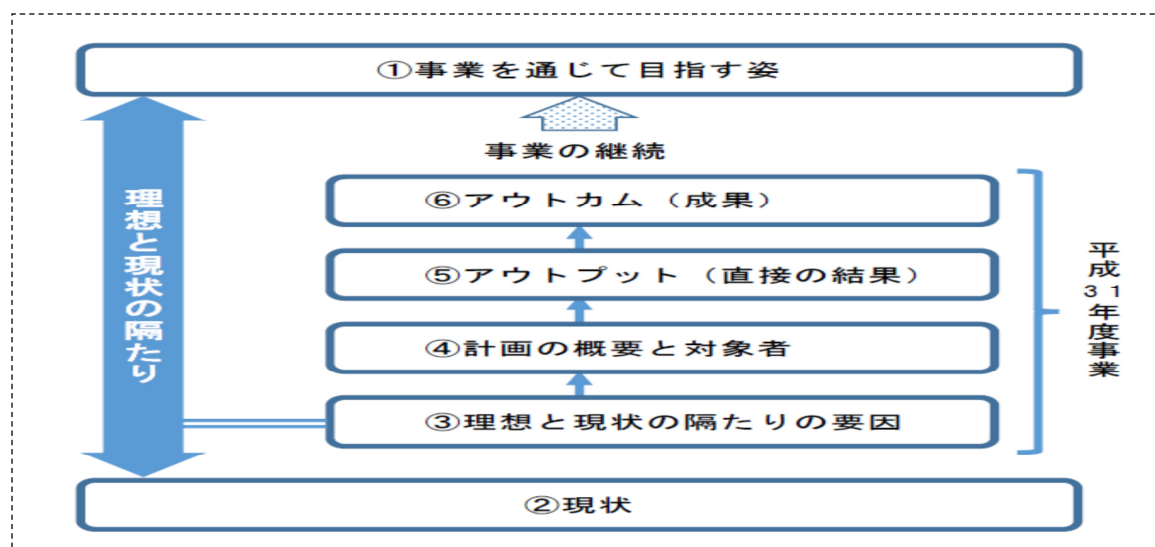


事業計画書

事業名	安心して子育てできるまち・倉敷をめざして ～ 妊娠期からつながる地域ふれあい交流活動事業～
団体名	NPO 法人 子育て応援ナビぽっかぽか

記入する項目の関係図

次の図は、この事業計画書の各項目の関係を示したものです。以下、この図を意識しながら、各項目に記入する内容を検討してください。



1 目指す姿

事業を通じて目指す姿や、事業を実施する目的はどのようなものですか。「地域や社会、人のどんな問題を解決し、どのような状態にしたいのか」を具体的に記入してください。

問題：核家族で育ち、赤ちゃんにも触れたことのないまま育ってきた世代が、周りに相談できる人も頼る人もないまま手探りで子育てしている。地域子育て支援拠点事業に関するアンケート調査 2016*で、「自分の育った市区町村以外で子育てしている『アウェイ育児』の割合が 72%とあるが、倉敷駅周辺地域では更に多くの母親がアウェイ育児の状況におかれていると考える。

○周りの人と関わりがない

○誰にも頼れない（頼ってはいけないと思っている）

*NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会が実施した、地域子育て支援拠点を運営する全国 240 団体にアンケート配布し、172 団体と母親 1,175 人が回答したもの

目指す姿：地域につながりのなかった子育て家庭が地域に見守られながら必要な支援やサービスを利用して心穏やかに笑顔で子育てをする。

○困ったことや不安に思ったことを気軽に誰かに相談できる

○今後の子育てに見通しをもつことができる

安心して子育て

○子育て家庭が置かれている状況を地域住民に知ってもらう

温かい見守り

2 現状

上記 1 の目指す姿と比べて、現在はどのような状況にありますか。

- 妊婦自身が育った場所ではない、なじみのない場所での妊娠・出産のため、
- 会って話せる友人が近くにいないため、孤独感を感じている
- 周りの地理が分からないため、外に出掛けることも少なくネットの情報に頼りがち
- 悩みや困ったことを気軽に相談できる人が周りにいないと感じている
- 妊婦同士の交流や子育ての知識・情報提供がどこで実施されているか知らない（車がないと参加が難しい場所で行われている）

3 目指す姿と現状の隔たりの要因

上記 1 と 2 の隔たりを生み出している主な原因はどのようなものと考えますか。

- 赤ちゃんに触れたことがなく、子育てについて気軽に相談できる身近な人がいないため、育児書やインターネットからの情報で子育ての方法を学んでいる
- 各子育て支援団体の PR 不足（地域とのつながりもない）
- 子育て支援団体が計画するイベントで、妊婦が「参加したい」と思えるような企画がなく、妊婦同士の交流を促す機会が少ない

4 計画の概要と対象者（平成 31 年度）

上記 3 で挙げた要因を取り除くため、どのような人を対象に、どのような活動を実施しますか。150 字以内で簡潔にまとめてください（計画の詳細は下記 7 に記入してください）。

妊婦を対象とした子育て講座を実施し、参加者同士の交流を行ったり、地域の子育て情報の提供を行ったりする。

- ガーゼはんかち、スタイ等の製作講座
- スクラップブックやマタニティヨガ等の妊婦自身が楽しめる講座
- 沐浴、抱っこの体験
- 先輩ママの経験談、赤ちゃんとのふれあい体験
- 地域の子育て情報の提供

【145 文字】

アウトプット（直接の結果）とアウトカム（成果）について

アウトプットとは 事業の直接の結果であり、事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスが提供されたかをいいます。

アウトカムとは 事業の成果であり、アウトプットが地域や社会、人にもたらす変化や効果をいいます。事業はこのアウトカムを生み出せるように計画します。

アウトプットとアウトカムの関係
事業を実施すると、まず、
というアウトプットが生じ、次にその成果として、
というアウトカムが生じる関係にあります。

事業実施 アウトプット アウトカム

アウトプットとアウトカムの例

事業名	活動	アウトプット	アウトカム
学習支援事業	学習会の開催	月 4 回、各回 20 名参加	参加者の学習意欲の向上
就労支援事業	冊子作成・配布	1 千冊作成、800 人に配布	就労に必要な知識の習得
保護者支援事業	居場所の運営	週 2 回、各回 15 名参加	育児の負担感の緩和
移動支援事業	高齢者の送迎	週 2 回、各回 5 名利用	移動手段の選択肢の増加

5 アウトプット（直接の結果）

平成 31 年度の事業を通じて、どれだけの人に対し、どのようなサービスを提供しますか。

- 妊婦を対象に赤ちゃんグッズ製作やマタニティヨガなどの講座を開催し、参加者同士の交流を促す
- 妊娠期の家庭を対象に、子育てや地域の子育て支援情報を提供する学習会を開催する
- 妊婦を対象に、先輩ママの経験談を聴いたり、赤ちゃんに触れ合ったりする交流会を開催する

アウトプットを測る指標と数値目標を記入してください。

指標	現状の数値	事業実施後の数値目標
○講座の参加者数（妊婦）	0 人	80 人（10 人×8 回）
○講座、学習会、交流会の実施回数	0 回	13 回 （講座 8 回、勉強会 2 回、交流会 3 回）
○学習会の参加者数 （妊娠期の家庭）	0 人	40 人（20 人×2 回）
○交流会の参加者数	0 人	60 人（20 人×3 回）

事業実施後の数値目標は、どのような方法で測りますか。

各講座・学習会・交流会を実施することに参加者数を集計する

6 アウトカム（成果）

上記 5 のアウトプットが、平成 31 年度中に、地域や社会、人にもたらす変化や効果はどのようなものですか。

- 参加者同士がつながり、子育ての仲間ができる
- 参加者がいろいろな子育て支援情報を知ること、地域の子育て支援の場を利用できる
- 参加者がこれからの子育てに見通しをもつことができ、地域の中で安心して主体的に子育てができる

7 計画の詳細

(1) 具体的な内容

内容、対象者、実施期間、実施場所、ねらいなど、できるだけ明確に記入してください。

講座・学習会・交流会 共通のねらい

- 妊婦同士のつながりができる
- 出産後の子育てのイメージ作りができる
- 行政などの身近な相談先につながる機会になる

○妊婦さん向け講座

- 【ねらい】参加者同士がつながり交流する
- 【期 間】年 8 回
- 【場 所】倉敷駅前空き店舗、倉敷教会、竹中幼稚園小規模保育所等
- 【内 容】・ガーゼはんかちやスタイ等、赤ちゃん用品を作る
 - ・スクラップブックやハーバリウムなど、大人が楽しめる製作を行う
 - ・裁縫や製作が得意な地域住民を講師に迎える
 - ・参加者同士の交流を促すため、カフェタイム（お茶・弁当の飲食）を設ける
 - ・カフェタイムに周辺の飲食店や弁当屋を利用することで、地域の店舗を知る

○妊娠期の家庭向け学習会

- 【ねらい】 子育ての知識・技術を習得する
産前産後の身体の変化を知る
- 【期 間】年 2 回（6 月、10 月）
- 【場 所】くらしき健康福祉プラザ、倉敷公民館等
- 【内 容】・沐浴、抱っこの知識・技術を学ぶ
 - ・赤ちゃんの発達を知る
 - ・産前産後の身体の変化について学ぶ

○先輩ママと赤ちゃんとの交流会

- 【ねらい】 赤ちゃんの育ちを知る
地域子育て支援拠点や子育てサロン、親子クラブの活動を知る
- 【期 間】年 3 回（7 月、9 月、12 月）
- 【場 所】地域子育て支援拠点、倉敷公民館等
- 【内 容】・先輩ママの経験談を聴き、子育ての見通しをもつ
 - ・地域で活動する子育て支援団体の情報を知る
 - ・子育て中の親子と知り合い、赤ちゃんの育ちを知る（抱っこひもの選び方等）

(2) スケジュール（準備～実施～報告）

4月	倉敷市保健所や倉敷市内産科へ講座・交流会のチラシ掲示依頼
5月	講座
6月	学習会
7月	講座 ・ 交流会
8月	講座
9月	講座 ・ 交流会
10月	学習会
11月	講座
12月	講座 ・ 交流会
1月	講座
2月	講座

(3) 実施体制

上記(1)の計画を実施するにあたり、実際に取り組む団体会員を記入してください。また、人件費を支払う予定の団体会員には、人件費欄に「有」を記入してください。

氏名	事業に有効な資格や経験	人件費
田口 陽子	社会福祉士	無
逢坂 麻由	保育士、社会福祉士	有
長谷川 喜久美	助産師	有
10名を超える場合は、外 名としてください		外（ ）名

8 受益者負担 事業の財源確保のため、可能な限り参加費や受講料などを徴収してください。

(1) 徴収する（見込み _____ 1,000 円程度(材料、弁当代込) _____)

(2) 徴収しない(理由: _____)

収支予算書

1 収入の部

科目	内訳	金額(円) ₂	積算根拠
受益者負担		130,000	講座 1,000 円×10 人×8 回 交流会・学習会 500 円×20 人×5 回
会費からの繰入		0	
その他		193,000	法人管理費より不足分補填
市補助金		500,000	
収入合計		823,000	(支出合計と一致)

2 支出の部

科目	内訳	金額(円) ₂	積算根拠
人件費(会員) ₁		9,000	(助産師) 900 円×1 人×3 時間×3 回
交通費(会員) ₁		0	
人件費(アルバイト等)		68,000	850 円×2 人×4 時間×10 回
謝金(講師等)		140,000	20,000 円×7 人
旅費交通費(講師等)		35,000	市営駐車場 820 円×2 台×10 回 県外講師 18,000 円
消耗品費		50,000	A4 用紙、手指消毒 製作用材料(布、画用紙等)
印刷製本費		340,000	両面カラーチラシ 10,000 円(5,000 部) 講座チラシ 3,000 円(300 部)×10 回 デザイン料 30,000 円×10 回
通信運搬費		10,000	(講座案内送付用) 切手 82 円×120 人
保険料		6,000	ボラ行事用保険 C 28 円×15 人×13 回
使用料・賃借料		60,000	会場使用料 5,000 円×12 回
対象経費計		718,000	
食糧費		75,000	飲食代 500 円×15 人×10 回
人件費		30,000	(助産師) 700 円×1 人×3 時間×3 回 【人件費不足分】(事務局) 900 円×25 時間
対象外経費計		105,000	
支出合計		823,000	(収入合計と一致)

組織運営体制

団体名	NPO 法人 子育て応援ナビぽっかぽか
ふりがな	えぬびーおーほうじん こそだておうえんなびぽっかぽか
法人格(をつけてください)	任意団体 (NPO 法人) 一般財団法人・一般社団法人・公益社団法人 公益財団法人・社会福祉法人・協同組合・その他 ()
CANPAN 登録の有無	(有) ・ 無

CANPAN: 日本財団及び特定非営利法人 CANPAN センターが運営する, 市民・NPO・企業などの活動を支援する WEB サイト
以下の項目は, CANPAN に登録する情報と同等の内容です。登録済みの場合は, そちらを参照すると便利です。

1 組織体制

任意団体活動開始年月	2007 年 11 月 (西暦)	
法人格取得年月	2008 年 6 月 (西暦)	
事務所 所在地	岡山県倉敷市水江 187 番地 2	
代表者	職・氏名	理事長 田口 豊郁
	電話番号	086 - 427 - 5550 (連絡可能時間帯 10:00 ~ 16:00)
ウェブサイト URL	http:// www.pokkapon.com	
活動地域	倉敷市	
役員数・職員数計	28 名 (役員 10 名, 職員 17 名)	
設立年月	2007 年 11 月 (西暦)	
活動分野 (該当に をする) (複数回答可)	(子ども) (青少年) (障がい者)・高齢者・在日外国人・留学生 (福祉) 保健・医療・ (教育・学習支援) (地域・まちづくり)・文化・芸術の振興・スポーツの振興・ (環境・エコロジー)・災害救援 (地域安全)・(人権・平和)・国際協力・国際交流・ (男女共同参画)・IT の推進・科学技術の振興・経済活動の活性化・起業支援・ 就労支援・労働問題・消費者保護・市民活動団体の支援・観光・農山漁村・中山間・ 助成活動・食・産業、漁業、林業・行政監視・情報公開・行政への政策提言・ 学術研究・その他 ()	
活動目的 (規約等に定めるもの)	子どもの健全育成に関する事業を行い、すべての子どもたちがいきいきと行動し、心豊かに成長できる環境づくりをめざす。	
設立以来の主な 活動実績	乳幼児と保護者の居場所として、平成 20 年 8 月に倉敷駅前商店街店舗 2 階に、「ひろば・ぽっかぽか」を開設。月・木の週 2 回、10 時から 15 時まで開設。 平成 21 年度から「地域子育て支援拠点事業ひろば型」として倉敷市	

	<p>委託事業となり、週 5 日、月から金の 10 時から 15 時まで開設。</p> <p>平成 22 年 4 月より倉敷物語館喫茶室にて、「みんなのぼっ cafe」を営業開始。年末年始を除く、毎日 10 時から 17 時 30 分まで営業。平成 22 年 10 月に、ひろば・ぼっかぽかを倉敷駅前商店街店舗 2 階から、公立幼稚園 2 階に移転、同時に託児サービスを開始。週 5 日、月・火・金：10 時から 15 時、水：9 時から 14 時、木：11 時から 16 時まで開設。平成 24 年 10 月より、地域子育て支援拠点事業ひろば型加算事業として、「出張ひろば・ぼっかぽかプラス」を倉敷駅裏に開設、毎週木曜日 10 時から 15 時まで行う。また、ひろば・ぼっかぽかの開設時間を月～金曜日 10 時から 15 時までに変更した。</p> <p>平成 27 年 5 月より、JR 倉敷駅前の民家「さろん ぼっかぽか」にて、毎週火曜日に「赤ちゃんタイム」「きれい字ママ講座」を 10 時から 13 時までで開始した。同年 6 月から、岡山県の「多様な主体による協働による地域支援事業」の補助をいただき、「倉敷トワイライトホーム」事業を開始した。</p> <p>平成 28 年 4 月に、倉敷市美和一丁目に地域子育て支援拠点「みんなの広場・ぼっかぽか」を移転、月～金曜日 10 時から 15 時まで開設。幼稚園 2 階の「ひろば・ぼっかぽか」は、週 1 回のみ開設となった。「出張ひろば・ぼっかぽかプラス」は、平成 28 年 3 月 25 日をもって閉所した。</p> <p>「倉敷トワイライトホーム」は、平成 28 年 5 月をもって「さろん ぼっかぽか」が契約満了となったため、倉敷市東町に拠点をうつして活動を行っている。現在、運営や資金集めを学生団体が主体となって活動しており、当法人は、利用児の保護者支援を行っている。</p>
<p>現在特に力を入れていること</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者のための居場所づくり、親育ち子育て（みんなの広場 ぼっかぽか、出張ひろば・ぼっかぽか） ・地域住人・観光客とのふれあい交流活動（みんなのぼっ cafe）

2 団体概要と財政状況

<p>団体の活動・業務 （事業活動の概要）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域子育て支援拠点事業 （みんなの広場・ぼっかぽか、出張ひろば・ぼっかぽか / 倉敷市委託事業） ・家庭教育等情報収集・交換・発信事業 （ぼっかぽか家庭教育学級 / 倉敷市委託事業）
-------------------------------	---

様式第 4 号

	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ふれあい交流活動事業 (みんなのぼっ カフェ) ・専門家による相談事業 (産じょく期ヘルパー / 倉敷市委託事業)
今後の活動の方向性	子どもたちが笑顔で育つためには地域全体、社会全体で子どもとその家族を育む必要があることに気づいた。まず、ネットワークづくりをしたいと考える。また同時に、子どもが生まれてからの支援ではなく、生まれる前から問題の発生を予防するための活動に取り組んでいきたい。
最新決算総額 (該当に をする)	100 万円未満・100～500 万円未満・500～1,000 万円未満・ 1,000～5,000 万円未満 5,000～1 億円未満・1～5 億円未満・5 億円以上
定期刊行物	ぼっかぼか通信 (毎月 1 回発行)

3 活動概要と協働実績

助成金・補助金等の支援を受けた実績	愛のキャンパ ろうきん立ち上げ助成
他 NPO・市民活動団体との協働実績	2008 年度協働のまちづくりフォーラム 2009 年度みんなで子育てボランティア NPO 法人「びーのびーの」に学ぶ。 体験セミナー 2009 年度子育て親育ち実施プログラム応援講座 2015 年 8 月 NPO 法人倉 koi 実行委員会との共催「倉 koi 縁日」 2016,17 年 8 月 倉敷物語館主催 NPO 法人倉 koi 実行委員会との共催 「くらしき縁日 夏祭り」
企業・団体との協働実績	みんなのぼっ カフェ (2010 年度～継続中)
行政との協働実績(委託事業など)	地域子育て支援拠点事業 (倉敷市子育て支援課) 2009 年度～継続中 子育て親育ち実施プログラム応援講座 2009 年度 家庭教育学級 (倉敷市生涯学習課) 2009 年度～継続中 備中子育て晴れの国交流会 (備中県民局) 2011 年度 ノーバディーズ・パーフェクト・プログラム in ぼっかぼか (備中県民局) 2011 年度 多様な主体の協働による地域支援事業 (県民生活交通課) 2015 年度 産じょく期ヘルパー (倉敷市子ども相談センター) 2015 年度～継続中 地域のたまご”ももっこ” 応援講座等事業 (備中県民局) 2016 年度 倉敷市男女共同参画推進事業 委託事業 2017 年度